

作成日：2021年6月11日

学校法人 滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校
2021年度 学校関係者評価委員会議事録

議事録作成者：藤田 直人

1. 開催日時 2021年6月11日（金） 13:00～15:00
2. 開催場所 東京メディカル・スポーツ専門学校 校長会議室
3. 参加者 学校関係者評価委員（Zoomにて開催）

高井 豊	業界関係者（医療法人社団森山会リハビリテーション統括部長）
牛込 公一	卒業生代表（有限会社ティ・シー・ティー 代表取締役）
山本 洋美	保護者代表（鍼灸師科2年在籍）
森 章	高校関係者（拓殖大学紅陵高等学校 校長）
沼倉 英理	近隣関係者（行船管理有限会社 代表取締役社長）
宇梶 義男	業界関係者（ムーヴアクション株式会社 代表取締役）

学校側参加者

関口 正雄	東京メディカル・スポーツ専門学校	学校長
松川 勝吉	東京メディカル・スポーツ専門学校	事務局長
館脇 康郎	東京メディカル・スポーツ専門学校	教務部長
形本 裕子	東京メディカル・スポーツ専門学校	事務部長
藤田 直人	東京メディカル・スポーツ専門学校	学生サービスセンター長

4. 会議の概要
 - (1) 学校長挨拶
 - (2) 委員紹介・委嘱状交付
 - (3) 2020年度自己点検・自己評価結果報告
及び2021年度重点目標の説明
 - (4) 質疑応答

議事

(1) 学校長挨拶

日頃より本校の学校教育にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。また本日はお忙しい中、学校関係者評価委員会にご参加いただきましてありがとうございます。

最初に学校関係者評価委員会とは何かと言うことに触れておきたいと思います。専門学校の中で文部科学大臣が直接認定する職業実践専門課程の制度が平成25年にできました。いくつかの認定要件のハードルをクリアした学科を認定するもので、現在は全国すべての専門学校の学科の4割程度が認定を受けています。その認定要件の中の1つに学校のステイクホルダーの方々に今は義務化されている「自己点検・自己評価」の結果について、また学校全般の事柄について総合的に評価、またはご意見を頂戴するものがこの委員会になります。ただ職業実践専門課程のコアになる認定要件は、企業と連携してカリキュラム編成をする教育課程編成委員会、企業と連携した外部実習、そして企業と連携した組織的な教員研修をするというように眼目がすべて企業、本校で言えば病院や施術所、スポーツトレーナーに関係する業界等になっています。これが職業実践専門課程の在り方を示しています。従いまして、本日は様々な学習成果を報告しますが、特に企業との連携の中でどのような成果が生まれてきているか、それはどのようなやり方、体制でできているかを中心に見ていただきたいと思います。いずれにしろ、リモートということもあり十分なコミュニケーションが取りにくいかと思いますが、本日はよろしく願いいたします。

(2) 委員紹介・委嘱状交付

各委員の紹介と委嘱状を交付する。(後日郵送)

(3) 2020年度自己評価内容と2021年度重点目標説明

・学校概要の説明 学校の設立、学科、組織目的の紹介

(松川) 本日は、緊急事態宣言下ということもあり4つの課題に絞ってお話をさせていただきます。法人全体にかかわるような事柄については、お配りした資料でご確認いただければと思います。

- ・オンライン授業の構築(基準3)
- ・学生支援(基準5)
- ・安全管理・教育環境(基準6)
- ・オンライン広報の構築(基準7)

(松川) 初めにオンライン授業の構築について教務部長の舘脇よりご説明させていただきます。

(館脇) 2020 年度当初は、当然対面授業で計画をしておりましたが、コロナの影響で急遽 ZOOM を取り入れて遠隔授業を実施する事になりました。また授業資料の配布に Moodle を利用したり、繰り返し学習ができるように You Tube を利用するなどし、自宅で学習できる体制に切り替えました。5 月には、オンライン授業に向けたオリエンテーションを実施し、講師の先生にもマニュアルを作ってレクチャーしました。実質授業を開始したのが 6 月で、登校許可がでたものの前半はすべてオンライン授業で、後半は週 2 日程度の登校にしました。ただ登校しても密にならないように分散型の登校にしました。7 月以降前期は、オンライン授業を 8 割程度にし、後期は 6 割程度にし、登校を少しずつ増やしました。また臨床実習については、外部での実習をすべて中止し、学内実習に置き換え、病院や施術所の先生方とはオンラインで繋ぎながらハイブリット型の授業を実施しました。国家試験対策については、クラスター発生を危惧し 2 月以降登校させず、必要な学生は個別でオンライン対応しました。

授業については、3D アプリを駆使して授業を行っていただく講師の先生や、学校として VR を使って実技系科目の施術・リハビリ技術の習得に役立てるなど様々な工夫をしました。文部科学省からも視察に来ていただきました。またオンラインで面談をしたり、悩みを相談できるような工夫もしました。しかし、学生に「オンライン授業による学習効果は感じられたか」とアンケートを取ると半分ぐらいの学生があまり感じていないという結果になり、まだまだ課題があると感じています。

今年度は、1 年生については PC を準備してもらうようにし、教育のプラットフォームを Micro soft Teams に変更し、より学生とのオンライン上でのやり取りをスムーズにする仕組み作りに取り組んでいます

2. 学習成果

●資格取得状況

資格	学科	合格率	全国平均
柔道整復師	柔道整復師科	83.6%	85.6%
はり師	鍼灸師科	90.2%	87.8 %
きゅう師	鍼灸師科	90.2%	89.1 %
理学療法士	理学療法士科 I 部	91.7 %	86.4 %
	理学療法士科 II 部	95.0 %	

(松川) 資格試験については、柔道整復師科が全国平均より少し低くなってしまいましたが、その他は全国平均を上回りました。

●退学率

年度	在校生数	退学者数	退学率
2020年度	686名	41名	6.0%
2019年度	665名	59名	8.9%

(松川) 2019 度、退学者は多かったが先ほどご紹介した取り組みなどにより、昨年度は 41 名にとどめることができました。

●就職

卒業生数	161 名	離職率 0名 0%
就職希望者数	136 名	【就職希望率】 84.5%
内定者数	136 名	【内定率】 【就職者率】 100 % 84.5 %
専門職内定者数	135 名	【専門職就職率】 99.3%
求人数(件数)	3315名935件	32.3件/学生一人
スポーツ系就職	55名	40.4%

(松川) 就職希望者は、すべて就職することができました。

この後、このコロナ禍のなかで求人が減ったことに対応する取り組みをご紹介したいといとます。

(松川) ここまでで何か質問があればお願いします。

(牛込) オンラインの先生達の成果(手ごたえ)は何かありましたか。

(館脇) 紙でなくデータで資料を示すなど、効率化という視点で良かったという面がありました。また教育の質の担保という面では、オンラインの方がやり易いという先生もいますが、まだまだ対面の方がいいという先生もいます。ただ、試験だけは対面で行いたいという方が多く、登校で実施しています。

(牛込) 今後、コロナが終息し登校が可能になった場合、オンラインの授業は続ける予定ですか。

(館脇) 今年度は対面学習を主にしたいと考えています。ただオンラインというよりも、パソコンを使って授業資料の保存とか授業の工夫に取り組んでいこうとことになります。今回のように緊急事態宣言が出て、登校が難しい場合オンライン授業を

入れることもやむ得ないと思います。国家試験対策においても、いろいろなアプリができていますので、PC を使ったのやり取りも多くなることもありますが、模擬試験については、本試験が紙によるものですから筆記式で行うようにしたいと思います。

(松川) 森先生何かございましたら、お願いします。

(森) 本校も昨年の4、5月は、対応に苦慮しました。御校では、取れる国家資格は直接人の体に施術することが大切で授業だけでは身につかない部分が多いと思います。その点については、どのようにお考えですか。

(舘脇) その点は、我々も一番思案した点になります。実際オンライン等で授業は行いましたが、不安がありました。学校長も就職した方がいいが、技術が身についていない状態では本人も辛い思いがあるのではないかと、卒業後もフォローするようにと指示がありました。この後、委員会の後半で説明します。今年度については、感染対策を充分取って実技の授業を増やしているところです。

3. 学生支援

●経済面

学費の支援
独自の学費支援システム： ・奨学金予約採用分納プラン ・兄弟姉妹学費免除制度 ・グループ校学費免除制度
「高等教育の修学支援新制度」対象機関
経済状況に左右されずに、学ぶ意欲のある子供たちが、社会で活躍できる人材を育成できる高等教育機関に進学し、学ぶことができるようにする国の新しい制度。日本学生支援機構の給付型奨学金と併せて修学を支援する制度です。
2020年度対象者
・ 新入生 第1区分17名 第2区分 7名 第3区分 4名 計28名
・ 在校生 第1区分18名 第2区分14名 第3区分 6名 計38名

(松川) 昨年「高等教育の修学支援新制度」対象機関になり、合計66名が減免対象となりました。オンライン授業の受信の問題のある学生に「モバイルルーター」の無料で貸出を行っておりました。

●就職支援

「オンライン業界説明会」の実施

コロナ禍における緊急事態宣言の発令と学校や企業への休業要請により、求人状況も学生の就職活動への意欲も悪化していました。

その中で専門学校のある意義でもある就職内定を勝ち取るために、コロナ禍の感染リスク抑制を考え、学生と企業の就職活動に於ける接点を減らさず、対面接点を極力減らす手法を熟慮することで、内定率100%が達成できる方法を模索しました。

【日時】 2020年6月14日(日)

対象学生:TMS卒業年次生

柔道整復師科 79名 鍼灸師科 47名 合計 126名

参加企業:23企業

延べ学生参加数 406名

(松川) オンライン業界説明会を実施しました。これは初めての試みとなります。昨年は求人の大幅な減少、活動開始時期に動けないなど多くの懸念がありました。

6月に企業と学生をオンライン(ZOOM)で繋ぎ説明会を実施しました。

スタートは遅れましたが、3月までに全員が内定することができました。

●新卒者フォローアップ研修

「新卒者フォローアップ研修」の実施

2020年度卒業生は、コロナ禍のため、残念ながら外部での臨床実習を全て学内実習に振り替えざるを得ませんでした。

そこで、各学科で臨床の現場で必要とされる基本的知識のフォローアップを目的として「新卒者フォローアップ研修」を5月30日(日)に実施しました。本来であれば対面での実施を計画していましたが、緊急事態宣言の延長を受け、すべてのプログラムを以下のようにWEBの活用にて実施しました。

【日時】 2021年5月30日(日)

・鍼灸師科:10時00分~13時00分 ZOOMによるオンライン配信

・柔道整復師科:13時00分~16時00分 ZOOMによるオンライン配信

・理学療法士科:5月30日~6月5日 YouTubeによるオンデマンド配信

(松川) 先ほどの話の中で出た内容になります。本当は、対面での実施を予定していましたが、緊急事態宣言が発令された関係でオンラインでの実施となりました。

「新卒者フォローアップ研修」の実施

【内容】

- ・共通: 関口学校長による「研修の目的」
- ・鍼灸師科: 「腰痛治療のための姿勢評価と動作分析」講師 山田英史先生
- ・柔道整復師科: 「エコー&物理療法研修」講師 米原裕二先生 箭柏えり先生
- ・理学療法士科: 「心臓の基礎生理学」講師 関口康平先生

4 安全管理・教育環境

●安全管理体制

安全管理体制

- ・AEDを5台配置している。教職員には、使用方法の講習済み(BLS)で授業中等の万一の事故に対応できるようにしている。
- ・校舎入り口にシールを貼り、設置を知らせているので近隣の方々にも緊急の際使用できるようにしている。
- ・防犯カメラと夜間対応のための自動施錠システムを設置している。

危機管理委員会

長期化が予測される新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、教職員・学生に向けた感染防止環境作りや衛生管理、感染マニュアル、倫理指導等、安心安全な学校作りを推進することを目的に「危機管理委員会」を発足。2021年度は「危機・衛生管理部」として継続的に感染拡大防止活動を実施。

<TMS対策マニュアル> 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を策定

(松川) 危機管理委員会を立ち上げ数々の感染対策を実施しました。本校も新型コロナ陽性者も数名出ていますが、すべて学外での感染であり学内でのクラスターは発生しておりません。また対策マニュアルを作成し職員と学生で共有し徹底しました。

(関口) 新卒者フォローアップに関してですが、第1回目は実践的な知識をつけてもらいたいこともそうですが、学校側のメッセージとして何か困ったことがあった時は学校に相談してほしいということもあります。

また実習に関係しての話ですが、ワクチン接種が実習を受け入れる条件になっている施設もあると聞きます。柔道整復学校協会や東専各などでも、こういう機会に力になれるよう動きだしたところでもあります。また滋慶学園でも動きもあります。委員の皆様においても何かお力添えを頂けるようによろしくお願いします。

(松川) それでは、ここで企業の方にご意見をいただきたいと思います。

宇梶様、高井様何かございましたら、お願いします。

(宇梶) オンラインになって企業に興味を持つレベルが下がったと感じている。また情報が偏って伝わって全体像が見えていないのではないかと思う。求人の情報と自分

が思い描いている夢が修正できないことがあるようだ。学校としては、多くの企業を見ることと、またどのようなところを見たらよいかを伝えてほしいと思う。

(松川) 自分たちの目で直接見る機会が少ないので、そのようなことが起こり得ますね。今年度の指導に活かしたいと思います。高井先生、病院はどうでしょうか。

(高井) 病院はコロナが終息する感じはありません。ただワクチン接種は進んでいて、医療従事者は2回済んでいる方がほとんどです。高齢者施設の利用者も、1回ないし2回は済んでいて、職員自体は気持ち的な面では落ち着いている。経営についてはコロナの影響は、計り知れないです。就職については、全国から来ますのでオンラインが中心です。採用数についても、欠員を補充する程度です。病院としては、実際にコロナ患者もいますし、ぜんぜん気を抜ける状態ではありません。またまだ振り返りができる段階でもありません。

(松川) 医療現場は、まだまだということですね。山本様、保護者の立場として何かあればお話しいただけますか。

(山本) 実技がオンライン授業になり、本人も自信を失ったこともあった。親としてどのようにフォローしたらよいか、不安なところですよ。

(松川) ありがとうございます。我々は、国家試験に合格してもらうことが最終目標ですが、これからもオンラインやオンデマンドを様々な工夫していきたいと思います。よろしくお願いします。沼倉様、何かありましたらお願いします。

(沼倉) 特にありません。

5 オンライン広報の構築

オンライン説明会
「外出自粛要請」や緊急事態宣言下での「休業要請」により、校内でのオープンキャンパスは自粛。受験生の学校選びの一助として開始。 ・Zoomを活用し、一日に3回程度、1回40分程度の個別相談会を実施。 ・広報スタッフは基本的には学内から実施するが、在宅でも可能。 ・オンライン保護者説明会も追加
SNSの活用
オンライン説明会だけでは伝えきれない「体験実習」や「実技特待生講座」を実施するために各種SNSを活用。 ・YouTubeを活用した体験実習動画の配信 ・Instagramライブ を活用した実技特待生講座

(松川) オンライン説明会を開催したり、SNS を活用して説明会を行った。今年度についてもさらに工夫をこらし、説明会を実施しているところになります。

次に 2020 年度の重点目標と結果についてです。

1. 中途退学の減少・進級率のアップ・・・○
 - ① 学びの時間確保の仕組みを作る・・・△
 - ② 担任の概念を変え、チューター制へ・・・○
 - ③ 単位制を導入する・・・○
2. ICT教育を積極的に取り入れる・・・○
 - ① オンライン・ハイブリッド授業の構築・・・○
 - ② 「TMSのICT教育」の構築・・・○

数値目標について

【2020年度数値目標】

- ・入学者数 210名
結果 ⇒ 218名 達成！
- ・中途退学者数 41名 (6.0%)
結果 ⇒ 41名 (6.0%) 達成！
- ・進級率 88.5%
結果 ⇒ 90.9% 達成！

2021 年度重点目標

1. 教育:EdTechを推進する
 - ①LMSにTeamsを活用したICT化を進める
 - ②学習の個別最適化による学習効果アップ
 - ③VRや360° カメラ等の導入
2. 広報:CRM/MA広報を推進する
 - ①CRM/MA広報を進める
 - ②YouTube等のSNSを活用とOLの精度 ↑

【数値目標】

1. 入学者数 230名
2. 中途退学者 39名(5.6%)
3. 進級率 90.1%

【運営方針】

DXで「教育力のTMS」を上げる

※「教育力のTMS」とは？

- ・入学者からの国家試験合格率 80%
をどうすれば達成できるか常に意識

(松川) 数年前から「教育力のTMS」を上げる方針を掲げていましたが、DX（デジタルトランスフォーメーション）によって、学生の主体的な学びを進めていきたいと考えています。学生達が工夫できる物を提供し、自らの力で学習効果を上げてもらう、そんな流れが作り出せればと思っています。そのようなところが運営方針の背景にあります。指標としましては、入学者からの国家試験の合格률을 80%以上にしたいところですが、まだ道半ばというところです。

以上が、本日お伝えしたい項目になりますが何かご質問があればお願いします。

(森) 学生支援にあったフォローアップ研修ですが、それを受けたことによりどんな成果がありましたか。

(松川) 実施が先週なので、まだ集約ができていません。まだオンデマンドで視聴できる状態ですので、今後まとめていきたいと思います。

それでは、最後に学校長お願いします。

(関口) 専門学校の学習成果については、国家試験の合格が大切ですがこれは知識です。在学中の実習や認定実技試験などは技術です。そして就職などの成果は数値化されて見えるものですが、やはり卒業生が5年、10年働いた初期キャリアの段階で現場にどのくらい受け入れられて評価されているか、また卒業生自身が学んで良かったという満足度を持てるかということが本当の学習成果だと思います。卒業の状況把握も今後やっていきたいと考えています。本日はどうもありがとうございました。

(松川) 以上を持ちまして、2021年度の学校関係者委員会を終了いたします。

本日は貴重なご意見ありがとうございました。